

# 第6部

## 地域別計画

---

第1章 計画策定の趣旨

第2章 地域別計画



## 第1章 計画策定の趣旨

本市は、鉄道駅を中心とした都市的な市街地が広がる地域から、豊かな自然環境に囲まれた農村集落が点在する地域まで、多様な個性や魅力を持った地域によって構成されています。

これらの地域において、それぞれが抱えている諸課題に対応し、より魅力のある地域にするため、ゾーニング計画との関連を踏まえつつ、地域ごとの特性や課題に対応したまちづくりに取り組む指針として、地域別計画を定めます。

なお、地域別計画の推進に当たっては、地域に暮らす多様な主体が、互いに協力・連携を図るとともに、地域におけるコミュニティを育み、活性化を図るよう努めるものとします。

### 1 地域の設定

地域の区分は、地域における歴史、集落・住宅等の一体性、これまでのコミュニティに関する取組を考慮し、阿蘇地域、村上地域、睦地域、大和田地域、高津・緑が丘地域、八千代台地域、勝田台地域の7つを基本とします。



### 2 計画の構成

#### (1) 地域の特性と課題

地域の位置，土地利用，人口等地域の特徵及び地域の抱える課題を記載

#### (2) 地域づくりの方針

地域のまちづくりについて，中長期的な視点に立った基本的な方針を記載

#### (3) 主な事業

地域のまちづくりを進めるうえで，令和3（2021）年度から令和6（2024）年度までに計画されている主な事業を記載

## 第2章 地域別計画

### 1 阿蘇地域

#### (1) 地域の特性と課題

本地域は市の北東部，新川の東側に位置しており，自然環境保全エリアの中にあります。地域には新川，高野川が流れ，その周辺には水田地帯が広がり，水田に囲まれるようにある台地には里山が見られるなど，緑豊かな自然環境に恵まれた地域です。

水田の周辺や主要地方道千葉竜ヶ崎線沿いには古くからの集落が形成されています。地域の西側を通る国道16号沿いには中高層集合住宅地の米本団地が，北部には，東京成徳大学と住宅地が併せて開発された八千代カルチャータウンがあります。昭和45（1970）年に入居が開始された米本団地は，「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン\*」により，ストック再生\*に位置づけられています。

また，県内3番目の道の駅として登録された八千代ふるさとステーションでは，市内の農産物や農産加工品の展示即売，体験型農園を通じて，農業経営者と都市住民とのふれあいの場が創出され，市外からの来館者も多数見られます。

地域の総人口は，減少傾向にあり，地域住民の年齢構成としては，年少人口と生産年齢人口の割合が低く，老年人口の割合が高い状況にあります。

本地域では，児童・生徒数の減少を受け，より良い教育環境を整えるとともに，新川や高野川周辺に広がる水田や畑，斜面緑地などの豊かな自然環境の維持・保全に努めながら，既存施設等の活用も含め，周辺施設の魅力の向上を図る取組が求められています。

#### (2) 地域づくりの方針

恵まれた自然・田園環境の維持・保全に努めていくことを基本に，農業の振興と農地の保全・活用を図るとともに，集落地における生活利便性の向上や市街地における住環境の維持・保全を図るなど，良好な自然環境と住環境が調和した地域づくりを進めます。

児童・生徒数の減少を受け，よりよい教育環境を整えるため，小学校及び中学校を統合し，施設一体型の義務教育学校の設置に向けて取り組みます。

また，道の駅やちよに水辺拠点，阿宗橋周辺に一里塚を整備し，新たな魅力の創出に努めます。

#### ■ 主な事業

##### 2章

阿蘇・米本地域義務教育学校の設立事業

（仮称）学校給食センター東八千代調理場建設事業

##### 3章

準用河川高野川改修事業


計画の推進のために

印旛沼流域かわまちづくり計画拠点整備事業

\*UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン：独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）が策定した，UR賃貸住宅ストックを将来にわたって国民共有の貴重な地域資源として活かし続けるため，令和15（2033）年度までのUR賃貸住宅ストックの多様な活用の方向性を定めたもの

\*ストック再生：多様な活用を行うために再生の必要がある高経年団地（主に平成31（2019）年4月時点で管理開始から40年を経過する団地）として類型化したもの

## 【地域の概要】

地域の範囲	米本, 神野, 保品, 下高野, 上高野の一部, 堀の内, 米本団地	
面積	11.2 km <sup>2</sup>	
人口 (令和元年度末)	9,755 人	
将来人口 (令和6年度末)	9,300 人	
世帯数 (令和元年度末)	5,133 世帯	
将来世帯数 (令和6年度末)	4,900 世帯	
主な道路	国道16号, 主要地方道千葉竜ヶ崎線, 一般県道八千代宗像線	
公園・主な緑地	街区公園(10か所), 緑地(10か所), 緑道(7か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 米本支所, 東消防署, 米本交番</p> <p>[教育・文化施設]: 阿蘇公民館</p> <p>[福祉施設]: 保育園(1園), 認定こども園(2園), ふれあいプラザ, 児童発達支援センター, 阿蘇・睦地域包括支援センター, はばたき職業センター, 特別養護老人ホーム(3施設)</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(1園), 小学校(3校), 中学校(1校), 大学(1校)</p> <p>[その他の施設]: 八千代ふるさとステーション, 米本浄水場, 北部中継ポンプ場</p>	
特色ある 地域資源	ほたるの里, 乳(ちっこ)清水, 米本城跡, 米本長福寺(戒壇石, 伝・村上綱清の墓石, 板碑一式), 米本稻荷神社本殿, すわり地蔵, 下総式板碑, 天保七年米本村絵図, 上高野の辻切り, 保品の戸長役場看板, 新川・高野川周辺の水辺空間, 神野芝山4号墳出土石枕, 新川流域出土の祭祀関連墨書土器(上谷遺跡)	

## 2 村上地域

### (1) 地域の特性と課題

本地域は市の東部、複合市街地エリアの東側に位置しています。

地域の北部には新川周辺の水田や斜面緑地が見られ、台地には本市の特産である梨の畑が広がっています。

地域の中央部には中高層集合住宅地の村上団地があり、UR賃貸住宅では「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」により、ストック再生による集約化が進んでおり、緩衝緑地帯である村上緑地公園を挟み、上高野工業団地が立地しています。また、新川周辺の県立八千代広域公園には、総合グラウンド・市民ギャラリー・中央図書館が立地し、多くの人々で賑わっています。

地域の南部には東葉高速線の村上駅、東葉勝田台駅と京成本線の勝田台駅があり、交通利便性が高いことから住宅地が広がっており、村上駅の周辺には、土地区画整理事業による良好な市街地が形成されています。

地域の西側を南北に縦断する国道16号の沿道には大規模店舗が進出し、南側を東西に横断する国道296号とともに交通量が非常に多いため、渋滞が頻繁に発生していることから、道路ネットワークの早期整備が求められています。

地域の総人口は、横ばいであり、地域住民の年齢構成としては、年少人口と老年人口の割合は低く、生産年齢人口の割合が高い状況にあります。

また、地域内の村上団地は、外国人住民が多く居住しており、地域住民との交流やコミュニケーションの支援が必要です。

そのほか、唯一の鉄道結節点である勝田台駅北側周辺における都市機能の再構築の検討や、新川周辺の水田地帯や斜面緑地などの自然環境の保全も必要です。

### (2) 地域づくりの方針

商工業・農業地と住宅地が隣接していることから、住環境に配慮した産業の振興に努めるものとします。

また、勝田台駅北側周辺における駅前広場の整備を検討するほか、県立八千代広域公園内にある中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなど市民の文化・スポーツ活動の中核となる施設の有効活用を図ります。

また、村上団地内に設置した多文化交流センターを活用し、引き続き外国人住民との交流を進めるとともに、村上団地の再生に向けて、UR都市機構と連携を図ります。

そのほか、地域に残る緑地などの自然や歴史的資源を守りながら、自然環境に恵まれた快適な生活空間と安心・安全な地域づくりを進めます。

#### ■ 主な事業

##### 3章

通学路整備事業 / 村上給水場施設改良事業

##### 4章

県立八千代広域公園整備の促進

都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業（上高野工区）

浸出水処理施設基幹的設備改良事業

## 【地域の概要】

地域の範囲	村上, 村上南, 下市場, 上高野の一部, 村上団地, 勝田台北	
面積	6.3 km <sup>2</sup>	
人口 (令和元年度末)	33,918 人	
将来人口 (令和6年度末)	34,200 人	
世帯数 (令和元年度末)	15,591 世帯	
将来世帯数 (令和6年度末)	16,200 世帯	
主な道路	国道16号, 国道296号	
公園・緑地	村上緑地公園, 村上第一公園, 村上中央公園, 村上神明公園, 黒沢池近隣公園, 街区公園(44か所), 黒沢池市民の森, 緑地(11か所), 緑道(1か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 村上支所, 村上駅前交番</p> <p>[教育・文化施設]: 中央図書館・市民ギャラリー, 総合グラウンド, 郷土博物館, 学校給食センター村上調理場, 村上公民館, 多文化交流センター, 上高野多目的グラウンド, ガキ大将の森</p> <p>[福祉施設]: 保育園(4園), 小規模保育事業所(1園), 村上地域包括支援センター, 特別養護老人ホーム(2施設)</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(4園), 小学校(3校), 中学校(3校), 高等学校(3校)</p> <p>[その他の施設]: 清掃センター, 村上給水場, 村上第2汚水中継ポンプ場, 村上駅, 東葉勝田台駅</p>	
特色ある 地域資源	木造釈迦如来立像(県指定文化財), 村上の神楽, 正覚院釈迦堂, 宝篋印塔, 七百余所神社古墳, 根上神社古墳, イヌザクラ(天然記念物), 村上の辻切り, 起木の弁天, 県立八千代広域公園, 新川周辺の水辺空間	

### 3 睦地域

#### (1) 地域の特性と課題

本地域は市の北西部、新川の西側に位置しており、自然環境保全エリアの中にあります。地域には新川、神崎川、桑納川が流れ、その周辺には水田地帯や里山など、水と緑に囲まれた豊かな自然が広がっています。

水田の周辺や主要地方道船橋印西線沿いには古くから集落が形成され、北部の大学周辺には学園都市として開発された住宅地が広がり、南部には吉橋工業団地を有しています。

地域の総人口は、減少傾向にあり、地域住民の年齢構成としては、年少人口と生産年齢人口の割合が低く、老年人口の割合が高い状況にあります。

本地域では、河川周辺に広がる水田や畑、斜面緑地などの豊かな自然環境の維持・保全に努めながら、周辺施設の魅力の向上を図る取組が求められています。

また、道路を始めとする生活基盤の維持・管理を図る必要があります。

#### (2) 地域づくりの方針

新川を始めとする水辺環境、優良な水田地域、谷津・里山などの豊かな自然・田園環境を維持・保全していくことを基本に、農業の振興と農地の保全・活用を図ります。

また、やちよ農業交流センターと新川対岸の八千代ふるさとステーションにおいては、農産物の直売や体験型農園のほか、水辺拠点としての整備を行うなど、新たな魅力や価値の創出に努めます。

#### ■ 主な事業

##### 3章

準用河川花輪川維持補修事業

##### 5章

水田再基盤整備事業

計画の推進のために

印旛沼流域かわまちづくり計画拠点整備事業



## 【地域の概要】

地域の範囲	桑納, 麦丸, 桑橋, 吉橋, 尾崎, 島田, 神久保, 小池, 真木野, 佐山, 平戸, 島田台, 大学町	
面積	14.1 km <sup>2</sup>	
人口 (令和元年度末)	7,236 人	
将来人口 (令和6年度末)	7,100 人	
世帯数 (令和元年度末)	3,211 世帯	
将来世帯数 (令和6年度末)	3,300 世帯	
主な道路	国道16号, 主要地方道船橋印西線	
公園・主な緑地	熱田ヶ池公園, 桑納川公園, 街区公園(19か所), 緑地(3か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 睦連絡所, 睦分署(消防), 睦駐在所</p> <p>[教育・文化施設]: 睦公民館, 睦スポーツ広場</p> <p>[福祉施設]: 保育園(1園), 小池更生園, 作山更生園, 友愛みどり園, ビックハート, 特別養護老人ホーム(2施設)</p> <p>[学校施設]: 小学校(1校), 中学校(2校), 高等学校(2校), 大学(1校)</p> <p>[その他の施設]: やちよ農業交流センター, 睦浄水場, 市営霊園</p>	
特色ある地域資源	佐山の獅子舞, 佐山貝塚, 吉橋城跡, 下総国印旛沼御普請堀割絵図, 旧睦村道路元標, 佐山熱田ヶ池, 新川・桑納川周辺の水辺空間, 石神谷津, 島田谷津	

## 4 大和田地域

### (1) 地域の特性と課題

本地域は市のほぼ中央部、新川の西側にあり、既成市街地エリアと複合市街地エリアのほぼ中央に位置しています。

地域の東部には新川が流れ、その周辺には、水田や八千代総合運動公園、県立八千代広域公園など、水辺空間に恵まれた緑豊かな自然が残されています。

地域の中央部には東葉高速線の八千代中央駅を中心に都市的な市街地が形成されており、地域の南部には国道296号沿いに「成田道（なりたみち）の宿場」の面影が残る街並みが見られるほか、京成本線の京成大和田駅を中心とした住宅地が広がっています。

また、地域の北部にはゆりのき台と斜面林を隔てて八千代工業団地が立地するなど、多彩な街並みを形成しています。

地域の総人口は、横ばいであり、地域住民の年齢構成としては、年少人口と生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が低い状況にあります。

本地域は、市役所や福祉センターなど、公共施設への交通の利便性の向上が求められています。

また、大和田地区土地区画整理事業区域では、大和田駅南地区において事業が完了したものの、未着手の大和田駅北側地区は、高低差のある地形や狭隘な道路の対応が課題となっています。

### (2) 地域づくりの方針

八千代総合運動公園や県立八千代広域公園など、新川周辺の水辺空間の環境整備に取り組むほか、文化及びスポーツ・レクリエーションの中心的役割を担う地域として、人・文化・自然がふれあう地域づくりを進めます。

また、地域の主要な生活道路について、人優先の安全を重視した整備を図るとともに、交通の利便性向上に向けた検討を行います。

さらに、京成大和田駅の北側地区においては、事業手法などの検討を地域住民とともに進めます。

#### ■ 主な事業

##### 1章

児童発達支援センター・すてっぷ21大和田整備事業

大和田地域包括支援センター委託事業

##### 3章

通学路整備事業 / 管路改良事業

##### 4章

大和田駅北側地区まちづくり事業 / 県立八千代広域公園整備の促進

八千代総合運動公園法面崩壊対策事業

計画の推進のために

庁舎建設事業

## 【地域の概要】

地域の範囲	大和田, 萱田, 萱田町, ゆりのき台, 大和田新田の一部	
面積	7.2 km <sup>2</sup>	
人口 (令和元年度末)	49,846 人	
将来人口 (令和6年度末)	50,700 人	
世帯数 (令和元年度末)	21,003 世帯	
将来世帯数 (令和6年度末)	22,100 世帯	
主な道路	国道296号, 一般県道大和田停車場線	
公園・緑地	八千代総合運動公園, 萱田地区公園, 飯綱近隣公園, 街区公園(78か所), 萱田町市民の森, 緑地(10か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 市役所, 教育委員会, 消防本部・中央消防署, 上下水道局, 八千代警察署, 大和田駅前交番, 八千代中央駅前交番</p> <p>[教育・文化施設]: 教育センター, 青少年センター, 大和田図書館, 市民体育館, 総合運動公園野球場, 市民会館, 文化伝承館, 総合生涯学習プラザ, 大和田公民館</p> <p>[福祉施設]: 保育園(9園), 福祉センター 小規模保育事業所(1園), 子ども支援センターすてっぴ21大和田, 障害者福祉センター, 大和田地域包括支援センター, 特別養護老人ホーム(1施設)</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(1園), 小学校(5校), 中学校(2校)</p> <p>[その他の施設]: 保健センター, 八千代医療センター, 市民活動サポートセンター, 衛生センター, 萱田浄水場, 八千代市農業協同組合, 京成大和田駅, 八千代中央駅</p>	
特色ある 地域資源	京成バラ園, 下総三山の七年祭り(時平神社), 飯綱神社本殿・ 拝殿・玉垣・参道石段・玉垣彫物・鐘楼・雨乞い祈禱の絵馬・ 神馬の絵馬, 萱田山長福寺(石造二十三夜・日記念仏塔(層塔), 新川流域出土の祭祀関連墨書土器群(北海道遺跡・白幡前遺跡・ 権現後遺跡)	

## 5 高津・緑が丘地域

### (1) 地域の特性と課題

本地域は市の中西部、既成市街地エリアと複合市街地エリアの両エリア内の西側に位置しています。

地域の殆どが市街地となっており、一部に残る農地等が貴重な緑地空間を提供しています。

地域北部の東葉高速線八千代緑が丘駅周辺では、大規模店舗や高層マンションなどが立地し、駅北西部では、土地区画整理事業完了に伴い良好な住宅地が形成され、現在も住宅などが多く建設されています。

地域の中央部には高津団地を中心とした市街地のほか、古くからある集落や土地区画整理事業により整備された住宅地が広がっています。

地域の南部には陸上自衛隊習志野演習場があり、訓練風景が見られます。

地域の総人口は、地域の北西部では大規模な土地区画整理事業が完了し、新たな街並みが形成されていく中で、今後も増加が見込まれています。地域住民の年齢構成としては、年少人口と生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が低い状況にあります。

本地域は、人口の急増に伴う新たな行政ニーズへの対応が求められているほか、国道296号を始めとする慢性的な交通渋滞対策なども課題となっています。

### (2) 地域づくりの方針

土地区画整理事業などにより整備された良好な住環境の保全を図るとともに、都市計画道路の整備を促進するなど、国道296号を始めとする交通渋滞を解消し、交通環境の改善に努めます。

また、交通アクセスや行政需要を考慮し、身近な市民サービスの提供を図るとともに、地域内に残る緑地などを活かした公園づくりに取り組むなど、人が集まり賑わいのある地域づくりを進めます。

#### ■ 主な事業

##### 1章

公立保育園施設改修事業

##### 4章

西八千代南部地区まちづくり事業 / 西八千代地区近隣公園建設事業

都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業（西八千代工区）

## 【地域の概要】

地域の範囲	高津, 高津東, 緑が丘, 大和田新田の一部, 高津団地, 緑が丘西	
面積	6.9 km <sup>2</sup>	
人口 (令和元年度末)	49,304 人	
将来人口 (令和6年度末)	54,800 人	
世帯数 (令和元年度末)	21,277 世帯	
将来世帯数 (令和6年度末)	24,000 世帯	
主な道路	国道296号, 主要地方道船橋印西線, 主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線	
公園・緑地	スポーツの杜公園, 北東部近隣公園, 西部近隣公園, 街区公園 (50か所), 緑地(16か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 高津支所, 高津交番, 八千代緑が丘駅前交番</p> <p>[教育・文化施設]: 学校給食センター西八千代調理場, 緑が丘図書館, 高津公民館, 緑が丘公民館,</p> <p>[福祉施設]: 保育園(10園), 認定こども園(4園), 小規模保育事業所(4園), 高津・緑が丘地域包括支援センター</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(2園), 小学校(5校), 中学校(2校), 特別支援学校(1校)</p> <p>[その他の施設]: 高津浄水場, 八千代緑が丘駅</p>	
特色ある 地域資源	下総三山の七年祭り(高津比咩神社), なりたみちの道標, 高津のハツカビシャ, 高津の辻切り, 高秀霊神社, 高津館跡, 高本入口の庚申塔, 石亀池	

## 6 八千代台地域

### (1) 地域の特性と課題

本地域は市の南西部、既成市街地エリアの南西部に位置しています。

地域のすべてが市街地となっており、市民の森などの保全林が貴重な緑地空間を提供しています。

また、地域を二分するように、都心と成田国際空港を結ぶ京成本線が走り、八千代台駅を中心として、東・西・南・北の4地区で形成されています。

八千代台は、昭和31（1956）年の八千代台駅の開業を機に日本初の住宅団地である八千代台団地が開発され、駅を中心として住宅地の造成が進むとともに、商業においても昭和40（1965）年代に入ると百貨店やスーパーマーケット等が立地するなど、市の商業の中心的な存在として発展を遂げてきました。

しかしながら、早い場所で開発から60年が経過し、まちの成熟とともに、空き店舗や空家の増加が見られるほか、公共施設の老朽化や市民ニーズの変化に対応した公共施設の統廃合が進められています。

地域の総人口は、減少傾向にあり、地域住民の年齢構成としては、年少人口と生産年齢人口の割合が低く、老年人口の割合が高い状況にあります。

本地域は、駅周辺における商業等の活性化や公共施設跡地の有効活用を図ることなど、地域資源を最大限に活かした賑わい創出のための取組が求められています。

また、駅周辺における都市基盤の再整備や幹線道路の整備などを図る必要があります。

### (2) 地域づくりの方針

八千代台駅周辺における都市機能の再構築を図るため、地域住民や事業者と一体となって検討を進めるほか、統廃合により廃校となった旧八千代台東第二小学校跡地を地域の賑わい創出の拠点として整備し、地域が主体的に活用することにより、地域コミュニティの活性化を図ります。

また、道路のバリアフリー化を促進することで、誰もが移動しやすく、外出しやすい歩行空間を整備するとともに、市民の森や子供の森など市街地においての貴重な緑の維持・保全を図るなど、快適な都市空間の創造に向けた地域づくりを進めます。

#### ■ 主な事業

##### 1章

公立保育園施設改修事業

##### 3章

消防庁舎及び消防署等整備事業 / 八千代台浄水場施設改良事業

##### 4章

八千代台駅周辺活性化推進事業

都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線整備事業

都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業（県事業）

計画の推進のために

旧八千代台東第二小学校跡地整備事業

## 【地域の概要】

地域の範囲	八千代台東, 八千代台南 八千代台西, 八千代台北	
面積	3.3 km <sup>2</sup>	
人口 (令和元年度末)	33,955 人	
将来人口 (令和6年度末)	33,200 人	
世帯数 (令和元年度末)	16,594 世帯	
将来世帯数 (令和6年度末)	16,800 世帯	
主な道路	一般県道幕張八千代線	
公園・緑地	八千代台近隣公園, 街区公園(52か所) 八千代台北子供の森, 八千代台北市民の森, 八千代台西市民の森, 八千代台東子供の森, 八千代台南市民の森, 緑地(4か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 八千代台支所, パスポートセンター, 八千代台分署(消防), 八千代台駅前交番, 八千代台東交番</p> <p>[教育・文化施設]: 八千代台図書館, 八千代台近隣公園小体育館, 八千代台文化センター, 八千代台東南公共センター, 男女共同参画センター, 八千代台公民館, 八千代台東南公民館, 適応支援センターフレンド八千代</p> <p>[福祉施設]: 保育園(4園), 認定こども園(1園), 八千代台地域包括支援センター, 特別養護老人ホーム(1施設)</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(2園), 小学校(3校), 中学校(2校)</p> <p>[その他の施設]: 八千代台浄水場, 八千代台駅</p>	
特色ある 地域資源	野馬除土手, 高津新田のカラスビシャ, 住宅団地発祥の地八千代台団地	

## 7 勝田台地域

### (1) 地域の特性と課題

本地域は市の南東部、既成市街地エリアの東側に位置しています。

地域の南部には勝田川が流れ、周辺には水田が広がっています。水田から続く斜面林が里山を形成し、水田の周辺部には古くからの集落があり、豊かな田園風景を醸し出しています。

地域の北部には、京成本線の勝田台駅と東葉高速線の東葉勝田台駅があるなど交通の要衝となっています。

この地域は、千葉市と佐倉市に隣接し、昭和43（1968）年の勝田台駅開業とともに誕生した勝田台団地を中心とした市街地が形成されており、勝田台駅南口周辺地域は、「みずき通り」をメインとした商業集積エリアが広がっています。

地域の総人口は、横ばいであり、地域住民の年齢構成としては、年少人口と生産年齢人口の割合が低く、老年人口の割合が高い状況にあります。

本地域は、市内で唯一の鉄道駅の交通結節点であることから、そのポテンシャルを十分に活かし、人の流れと賑わいのあるまちづくりに取り組むことが必要です。

また、地域の大部分は、計画的な基盤整備による良好な住環境が形成されており、現在の環境が阻害されないよう維持するとともに、南部に残されている自然環境を保全することが課題となっています。

### (2) 地域づくりの方針

勝田台駅周辺における都市機能の再構築を図るため、地域住民や事業者と一体となって検討を進めるほか、南口駅前広場のバリアフリー化を図ります。

また、計画的に整備された住宅地については、今後とも良好な住環境として維持・保全するとともに、地域南部の田園風景が守られるよう市街化を抑制するなど、住宅と自然環境が調和した地域づくりを進めます。

#### ■ 主な事業

##### 3章

勝田川改修事業 / 放置自転車等対策事業

##### 4章

勝田市民の森用地取得事業 / 勝田台駅南口エレベーター設置事業



## 【地域の概要】

地域の範囲	勝田台, 勝田, 勝田台南	
面積	2.4 km <sup>2</sup>	
人口 (令和元年度末)	16,261 人	
将来人口 (令和6年度末)	15,700 人	
世帯数 (令和元年度末)	7,738 世帯	
将来世帯数 (令和6年度末)	7,700 世帯	
主な道路	国道16号	
公園・緑地	勝田台中央公園, 街区公園(16か所), 勝田市民の森, 八勝園市民の森, 緑地(2か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 勝田台支所, 勝田台分署(消防), 勝田台交番</p> <p>[教育・文化施設]: 勝田台図書館, 勝田台中央公園小体育館, 勝田台文化センター, 勝田台公民館</p> <p>[福祉施設]: 保育園(2園), 認定こども園(1園), 小規模保育事業所(1園), 子ども支援センターすてっぷ21勝田台, ファミリーサポートセンター, 勝田台地域包括支援センター</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(1園), 小学校(2校), 中学校(1校), 高等学校(1校)</p> <p>[その他の施設]: 勝田台浄水場, 勝田台駅</p>	
特色ある 地域資源	勝田川周辺の水辺空間, 勝田の獅子舞, 勝田台群集塚, 仲山古墳群	

